

## 今週の News

1. 支部規定の制定、支部活動の活性化に向けて
2. 全まち 2022 in 東京・すみだの開催案内
3. これからのまちづくり研究会、第 2 回報告、第 3 回案内
4. 地域主体のまちづくり推進事業について

### ■支部規定の制定、支部活動の活性化に向けて

#### ①支部規定制定の背景

全国的にまちづくり、地域の活性化などの動きは加速しています。JSURP が実施している「地域主体のまちづくり推進事業」への期待、参加者の動向などからもまちづくりニーズの高さが感じられます。JSURP では今年の総会で「まちづくりの力で地域課題を解決する」ことを JSURP のミッションとして決めました。このミッションを実行していく上で、地域での活動をより一層活発にすることが最も重要であり、その活動のコアとして支部の役割がますます大きくなると思われま

す。JJSURP の支部は現在、北海道、神奈川(前横浜)、静岡、福岡、そして今年 8 月に発足した広島

の 5 支部です。北海道支部、旧横浜支部、福岡支部は一定の会員数を有しており、支部が主体となって全国まちづくり会議の開催も行われました。

また、かつて支部のあった関西・大阪地域や支部設立の動きがある名古屋地域、あるいは昨年全国まちづくり会議を開催した東北三陸エリアなどは、JSURP の活動履歴もあり、今後とも地域の方々との協働のまちづくりを進めていくことが望まれます。

#### ②支部規定制定のねらい

こうした支部の設立・運営の拠りどころとなる支部規定を新しく制定しました。

新しい支部規定の基本的な方針は次の 3 点です。

- ・支部を JSURP の地方・地域活動拡大の重要な拠点に
- ・支部の設立、運営をできるだけフレキシブルに
- ・地域に根ざした様々な組織・団体・個人との協働を進める

#### ③新しい支部規定の要点

< 設立の要件 > 第 3 条

- JSURP 会員 2 名(うち正会員 1 名)以上の発起人による設立申請
- 設立申請書には「名称」、「主たる活動エリア」、「所在地」、「役員」、「当面の活動予定」を記載の

< 支部の構成、役員 > 第 5 条

- JSURP 会員を主体とし、支部活動に賛同する個人及び団体(協働メンバーという)が参画することができる
- 役員は代表者=支部長(正会員 1 名)と幹事 1 名(会員)以上

< 会計 > 第 7 条

- 支部単位で収支バランスをとる
- 支部活動計画に基づいて一定の支部活動費を各支部に支出できる

### ■全まち 2022 in 東京・すみだの開催案内

いよいよ今年の「全まち」が 10 月 8 日(土)、9 日(日)に開催されます。新型コロナの感染拡大の影響を受け、本格的なリアル開催は 2019 年の東京・江東区での開催以来となります。

隅田川の東岸にあって多くの課題を抱え、それゆえに早い時期からまちづくりに取り組んできた「すみだ」。今回の全まちでは、2 日間で 22 のセッションを開催します。主に墨田区をテーマとしたセッション(木造密集市街地問題、雨水活用、空き地空き家問題、ものづくり等)、まちづくりを熱く語るセッション(何故まちづくりに関わるの?、子供とまちづくり、郊外住宅地でのまちづくり等)、新しいまちづくりの試みを語るセッション(新しいプランニングフレーム論、東京の歴史文化とまちづくり、水辺のまちづくり等)、そして防災とまちづくりと多彩なセッションが開催されます。

また、8 日(土)の午前には京島・向島のディープなまち歩き全 6 コースが用意されています。

会員の皆さん、「全まちすみだ」にぜひおいでください。

### ■「これからのまちづくり研究会」第 2 回報告、第 3 回案内

#### ①第 2 回公開研究会の結果報告

これからのまちづくり研究会の第 2 回公開研究会が 9 月 21 日に東京大学 工学部 14 号館で開催され、オンラインを含めて約 50 人が参加しました。今回は、「村再生のための「高森のいえ」プロジェクト」をテーマに、村の本質的な課題である人口減少と過疎化・高齢化について議論。十津川村では、過疎化する集落で「孤立」していく高齢者を対象として、現在の住宅における生活を続けることも可能とする「村内の二地域居住」を村営住宅として実現しましたが、そのプロセスを振り返りながら、福祉施設を施設ととらえず、住宅と施設の間施設と考

え、現場で、中間施設をどう着地させたのか。その検討プロセス・構想過程に関する貴重なセッションとなりました。福祉と住宅の垣根を越えて、アドバイザー(荻原さん)、国交省、奈良県、十津川村、コンサルタント、相互の率直な対話とフィードバックができる関係性こそが、現場で必要とされるスキームだと実感させられるセッションでした。



#### ②第 3 回公開研究会の開催案内

第 3 回(10 月 26 日)は、この企画の最終回として、『村づくり方針と戦略的プロジェクトの関係』をテーマに議論を深めます。

